

大阪港BCP情報伝達訓練アンケート結果（全13機関）

Q1 今回の情報伝達訓練について

- | | | | |
|---------------|----|----|---------|
| 1. 意義がある。 | 11 | 機関 | (85%) |
| 2. ある程度意義がある。 | 2 | 機関 | (15%) |
| 3. 意義がない。 | 0 | 機関 | |

Q2 港湾BCP情報連絡シート(府市共通様式)に改善点(内容・様式等)について

- | | | | |
|-------------|----|----|---------|
| 1. 今のままでよい。 | 12 | 機関 | (92%) |
| 2. 改善して欲しい。 | 1 | 機関 | (8%) |

大阪府と大阪市両方に同じ内容の連絡シートを送付しなければならない点。

Q3 web171を用いた情報共有について

以降 全11機関(大阪市除く)

①web171の操作性

- | | | | |
|---------------------|---|----|---------|
| 1. 操作やマニュアルが分かり易い。 | 5 | 機関 | (46%) |
| 2. 操作やマニュアルが分かりにくい。 | 2 | 機関 | (18%) |
| 3. その他 | 4 | 機関 | (36%) |

操作性がシンプルでわかりやすく良かった。発災初期情報の共有には十分だが、伝言内容の文字制限(最大100文字)があることには注意する必要がある。

マニュアルを熟読せず、組織名を漢字で入力すると記載した事項が登録されませんでした。ただし、エラーメッセージが出ないのでしばらく原因がわかりませんでした。NTTの問題ですが、改善あればと思います。

確認する(認証あり)を利用した場合、担当者以外の一般職員が実際に利用できるのか、疑問です。

②発災初期におけるweb171今後の活用について

- | | | | |
|-------------------------------------|---|----|---------|
| 1. メールや通常の電話回線による情報共有よりも優先的に利用したい。 | 2 | 機関 | (18%) |
| 2. メールや通常の電話回線が使えない場合の代替手段として有効である。 | 8 | 機関 | (73%) |
| 3. 活用は難しい。 | 0 | 機関 | (0%) |
| 4. その他 | 1 | 機関 | (9%) |

意見内容

回答1	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の通話は輻輳する可能性がある。 ・web171の利用は被災状況をリアルタイムに構成員に共有できる以上のことから、Web171の利用は有効。 ・情報共有する手段として最も有効と考えるため。
回答2	<ul style="list-style-type: none"> ・午前中の安否状況伝達訓練では、事務局の電話回線が1回線で通話中が生じることや事務局が聞き取りによる取り纏めに時間を要するため、即時の情報伝達が困難であることから、シンプルな伝達手段をいくつも用意しておくことは有効だと思う。また、Web171を利用することで、BCP会員の情報共有が即座に可能であり、発災直後は、有効なツールである。 ・Web171は通信手段の基本となる電話番号をキーとして登録できる点がわかりやすい。 ・発災初期に停電すると当社は非常用の電話回線と携帯電話しか通信手段が無いため。
回答4	<ul style="list-style-type: none"> ・各機関の迅速な情報共有に有効であると思われるが、入力できる伝言が最大100文字であるのは不便である。 ・インターネット回線が輻輳・遮断した場合は使用できない。 ・発災後、直ちに利用できるサービスであるのか確認願いたい。

⇒入力に制限等があるものの、分かり易く、有効な情報共有手段であることを確認。

<災害用伝言板(Web171)災害時のサービス開始について>

・地震・台風等の災害発生時に、被災地へ向かう安否確認のための通話等が増加し、被災地へ向けての通話がつながりにくい状況になった場合や震度6弱以上の場合、NTT東日本およびNTT西日本からサービスが提供される。また、必要に応じて、NTTへの依頼により、伝言板の開設が可能。

Q4 Web地理院地図を用いた、施設点検結果の情報共有について

- | | | | |
|---------------------|---|----|---------|
| 1. 操作やマニュアルが分かり易い。 | 7 | 機関 | (64%) |
| 2. 操作やマニュアルが分かりにくい。 | 2 | 機関 | (18%) |
| 3. その他 | 2 | 機関 | (18%) |

まだ、操作やマニュアルの共有ができていない。
 次の不具合が生じたことから改善をお願いしたい。
 ・ 訓練メールで送信されたweb国土地理院地図ファイル(事務局側の拡張子html、当監部側の拡張子txt)は、手順どおり拡張子をhtmlに変更したが開けなかった。なお、訓練後、事務局から別途txt形式で送信を受けたものは開くことができた。
 ・ 訓練メールで送信された写真データ(当監部側のファイル名ATT00001.txt及びATT00002.txt)は、拡張子をjpegに変更しても、「windowsフォトビューアーでこの画像を開けません。ファイルが破損しているか、大きすぎる可能性があります。」と表示が出て、開くことができなかった。

⇒ 各組織のメールセキュリティにより、受取りできない形式があるため、セキュリティに応じた対応が必要となる。

Q5 訓練に関する改善点について

番号	意見
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発災初期の情報伝達の訓練について、各会員の通信手段や番号などは訓練を通じて確認できるので今後も続けられたら良い。 ・ 港湾施設等の点検結果共有について、(ネット環境が必要であるが)情報を共有できるツールはそろったのであとは使い方に慣れ、また日常使う中で必要な情報を随時追加更新していければより使いやすいものになると思う。

Q6 今後の訓練及び事務局に向けたご意見・ご要望について

番号	意見
1	特に事務局に向けた意見ではなく、情報連絡に関して今回メール連絡した時に本番で何が使えるか分からないので、他の手段も試した方がよいかと感じた